

# 5.5

## 夏休みのくらし

### 1. 題材設定の理由

子どもたちは、夏休みをととても楽しみにしている。その夏休みを、ただぼんやり無為に過ごさせるのはもったいない。夏休みを意義のあるものにするために、夏休みにしかできないことにどんどん挑戦させ、やりきらせたい。自分の目標をもたせ、夏休み終了後にやりきったという充実感をもたせて2学期の始業式を迎えるようにしたい。

そのためには、一人一人の児童に無理のない目標や計画を設定させ、それをやりとげる意欲や姿勢を高めていきたい。

### 2. 指導のねらい

夏休みの意義を理解し、目標達成に向けて具体的な計画を立てることができるようにする。

### 3. 指導計画（全1時間）

事前	・今年の夏休みを、どのように過ごすのかを考えておくように指示する。
本時	・昨年の夏休みの過ごし方を振り返り、自分なりの目標・計画を立て、実現のために努力しようとする姿勢を高める。
事後	・一人一人の児童の計画を把握し、やりきれよう朱筆を入れ助言する。また、夏休み終了後には、がんばったことを記入し、それをもとに交流して認め合うようにする。

	活動のねらい	活動の内容	指導・援助の留意点	資料等
はじめの活動	・作文を読み、工夫や反省、気をつけていたことなどをあげて、自分の4年生の夏休みの様子を振り返ることができる。	◎「4年生の夏休みを振り返って」を読んで、がんばったこと、工夫したこと、反省したこと、気をつけたことなどを発表する。 ・計算ドリルを3回も復習しようとした。 ・バスケットボールの練習に必ず参加しようとした。 ・練習のある日は6時に起こしてもらった。 ・友だちに負けたくないがんばった。	・自分の4年生の夏休みの過ごし方と比べて意見を出せるようにする。	ノート①
	課題：自分に合った夏休みの計画を立てよう。			
中心の活動	・夏休みの具体的なめあてを立てることができる。	◎夏休みを充実したものにするためのポイントを考える。 ・目標をしっかり立てる。 ・朝、決まった時間に起きるようにする。 ・テレビは、見たい番組を決めて見るようにする。 ・家の中ばかりで過ごさないようにする。 ・夜更かしをしないようにする。 ・暴飲暴食をして体調をくずさない。  ◎今年の夏休みががんばることを学習・体力づくり・生活・お手伝いの4つの面で考え、ノートに書く。 〔学習〕 ・毎日朝のうちに2時間は学習する。 ・理科の研究をやりとげる。 〔体力づくり〕 ・北公園の周りで早朝マラソンをする。事故に気をつける。 ・縄跳びを毎日50回はする。 〔生活〕 ・歯磨きは1日3回、3分間するようにして虫歯を防ぐ。 ・夜10時に寝て、朝6時に起きるようにする。 〔お手伝い〕 ・玄関掃除と風呂洗いを毎日する。	・成功した例や失敗した例をもとに、ポイントを出すようにする。  ・自分にできるめあてにする。児童によって2～3ずつになる場合も予想される。	ノート②  ノート③
	まとめ	・友だちのめあてを聞くことで、自分の計画を見直すことができる。	◎自分のがんばることを発表する。 ◎説話をする。	・がんばることがその児童なりによく考えられているもの、工夫があるものなどを机間巡視で確認しておいて発表させる。

### 《説話例》 「忘れられない夏休み」

先生が今でも忘れられないのは、6年生の夏休みです。社会科の授業で学習した古墳時代にとっても興味があり、古墳のことをもっと調べてみたいと思いました。そこで、家の近くにあった古墳を中心に、あちこちの古墳を調べに回りました。博物館にも行きました。総合的な学習の時間の講師の先生にも話を聞きに行きました。すると、古墳がつくられた頃の様子がわかってきました。

学校の東側の山と南側の山には別々の集団が住んでいて力を競い合っていたことや、卑弥呼が中国

からもらったといわれる銅鏡も古墳から出てきたことなど、胸がわくわくしたものです。

調べたことをまとめて、1冊の社会ノートにして夏休みが終わって出しました。そのときの担任の先生が、「これはすごい研究をしたね。古墳の大きさや形など、自分の足で調べたこともすばらしいけど、地域の方に話を聞きに行ったこともすごいですよ。」とほめてくださいました。わたしが、社会科の先生になったのも、この6年生の夏休みの研究で自信をつけたからなのです。